

平成29年6月16日

総務文教委員会

阿久根市議会

- 1 会議名 総務文教委員会
- 2 日時 平成29年6月16日(金) 14時13分開会
17時01分閉会
- 3 場所 第1委員会室
- 4 出席委員 大田重男委員長、濱田洋一副委員長、渡辺久治委員、
西田数市委員、竹原信一委員、竹原恵美委員、
濱之上大成委員、木下孝行委員
- 5 事務局職員 議事係長 牟田 昇
- 6 会議に付した事件
・所管事務調査について
- 8 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

大田重男委員長

ただいまから、総務文教委員会を開会いたします。

先に依頼しておりました所管事務調査事項について協議願います。

前回は、市民交流センターについて、阿久根市地域防災計画について、教育行政に関しても不登校問題学校編成についてを調査事項としておりました。

今回、新たに本委員会で行う所管事務調査について、御意見をお伺いいたします。

木下孝行委員

一般質問でも出ましたが、小中学校の統廃合を含めた今までの調査を継続して、また2年間やっていくべきだろうと思います。

大田重男委員長

教育行政についてですね。

ほかに。

竹原恵美委員

私は一般質問でも取り上げたんですけども、今、阿久根市と多良木町と相互応援を進めていこうというところにあるので、ぜひ避難先としても多良木町との直接対話をしていくこと、また、そのほか避難先として指定されているところの市、町の調査を先に。総務課が進めてくれるところの実効性を高めるように、こちらもかけあうように調査、やりとりをしていったらどうかと思います。それが一つと、もう一つなんですけれど、今、企画からエネルギービジョンが出ていますが、その資料の中に福岡県のみやま市というところがとても先進地で、資料の中にも入ってきますし、長島町がみやま市を見習って今町内のエネルギーを町内で消費するという申請を出すというところを町から直接聞きましたので、阿久根市としてもエネルギービジョンを立てたのですから、みやま市に一度行って、市民の対応、体制なども見てくるのもいかがかと思います。

大田重男委員長

再生可能エネルギーに関係する視察ですね。

竹原恵美委員

エネルギー関係です。

大田重男委員長

さっきの避難も避難計画の中で相手の施設を見るとか、今後はこっちに避難する先を見るとか、避難計画の中のそれでいいですか。

竹原恵美委員

相互で話をしていかがですか。

大田重男委員長

ただいま、木下委員から教育行政の中で小中統廃合の問題、それと義務教育、これは学校編成になるんですけど、そういった案もありました。それと竹原恵美委員から避難計画の中でお互いの協定を結んでいる、例えば多良木町とか、その辺の意見交換とか、また、阿久根市が指定している避難先の視察でよろしいんですね。それと、もう一つは阿久根市が再生可能エネルギービジョンを今度やるんですけど、そこで福岡県のみやま市にいいものがあると。総務文教委員会としても、再生可能エネルギービジョンに関する視察をするということで、それでよろしいですか。

濱田洋一委員

先ほどの竹原委員の避難先への協定関係、関連とは少し違うんですけども、2年前より避難のあり方というか、研修をしましたが、これも引き続きですね、例えば、今特に

防災計画の中でも、原発ももちろんですけども、一般災害ですね、風水害とか。特にそういったピンポイントでの災害というのも今後ますます予測されますので、その自治体での、例えば自主防災であるとか、例えば役所との連携であるとか、そういったことをもう1回復習の意味で、ほかの自治体でいいところがあればですよ、いいところといいますか、模範となる自治体をまた研修させていただいて、それを阿久根市に置き換えた中で、地形等もありますけれども、どういうふうに防災の中でも減災ですね、そういったところを進めていくことができたらいいかなと。だからそのためにもやはり防災の意識付けといいますか、そういった避難先ももちろんですけども、まずはどういった体制で、どういった団体といいますか、自主防災ですとか、消防であるとか、地域であるとか、まずは初動動作をどうふうにしなきゃいけないのかというのを勉強していけたらと思います。一つ提案です。

大田重男委員長

今の意見は避難計画の中に取り入れてほしいと、それでよろしいですか。

木下孝行委員

竹原委員も濱田委員も同じような感じの調査なので、まとめて危機管理等に対する調査というか、それでいいんじゃないですか。

濱之上大成委員

私の聞き違いかもしれませんが、私が間違っているのか、皆さん間違っているのか知らんけど、まず、避難場所というのは決まった場合は避難場所に、提供されたところに行くわけですよ。それでそこに行った先で何をしてもらおうとかというそういう問題よりも、私たちが避難場所を提供してもらったところに行ってどういうふうにするべきかというのはもちろん大事ですから、それを含めてせないかなと思います。何かこう、避難場所が決まった、そこに行ったら何でもしてくいやあもんとか、誤解されている住民もおらんでもないですから、ここの住民はしるべきものは逃げた、自分たちが避難する以上は避難するだけの自覚を持ってですね、自分たちは準備をしていく。せめてトイレとかそげんとはどこにあっかとか聞くぐらいならいいですけど、逆の立場もあります。水俣、あるいは県外から地震が阿久根に来た場合に私たちはどこの場所を提供する、どの程度すればいいかという、先ほど議長も言ったけど、そういう危機管理ですから、そういう全般的な形でというとらえ方でしていただければなと。それはやっぱり住民にも発信せんと、何か逆に避難場所が決まったから何をしてくるっとなという人がときどきおいやって、誤解じゃないかなと僕は思うんで。それはひと言、言っときます。

大田重男委員長

今、濱之上委員も言われましたけど、木下委員、濱田委員、竹原恵美委員も先ほど提案ありましたけど、一応、災害対策及び避難計画ということでよろしいですかね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それともう一つ、私自身が考えてるのは、よその行かなくてもいいんだけど、自分たちのまちの避難場所がわからないところがあります。自分たちの地区は大川はここだと場所はわかるんですよ。それと脇本地区の避難場所はどいったところなんだろうかなという、それを私は知りたいんですよ。実際、自分たちのまちの中の避難場所を知らない人もいます。

木下孝行委員

調査項目の中で、調査の中のそれはやっぴいんじゃないですか。

〔発言する者あり〕

大田重男委員長

それではまとめますけど、まずは教育行政、その中で学校の統廃合並びに義務教育学校の関係、それと再生可能エネルギービジョンに関する調査、それと3番目に災害対策及び避難計画について、それを調査事項にしたいと思いますが、それでよろしいですかね。

御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]
御異議なしと認め、そのように決しました。
所管事務調査の件についてはこれで終了します。
あとは予算委員会が終わってから、
[発言する者あり]
この際休憩いたします。

(休憩 14:35～17:00)

大田重男委員長

休憩前に引き続き委員会を再開します。
本日の委員会はこれで散会し、次回は6月19日月曜日に開催したいと思いますが、御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]
異議なしと認め、本日の委員会はこれにて散会し、次回は、6月19日、月曜日、午前10時から開催いたします。
以上で、総務文教委員会を散会いたします。

(閉 会 17時01分)

総務文教委員会委員長 大 田 重 男